

あの人このひと

今回は、加茂郡体育大会・消防操法大会で活躍されたお2人に登場していただきました。

「サッカーを通して」

坂祝町体育協会サッカー部

坂祝FC代表 若井健太

この原稿を書いているのは6月29日です。そう、日本がワールドカップ決勝トーナメント進出を決めた日です！日本中がサッカーでアツくなっている今、体協サッカー部代表として原稿を書かせてもらっています。ワールドカップを見て、本当にサッカーは世界中で愛され、皆を熱中させるスポーツなんだと改めて実感しています。

坂祝FCは体協のサッカー部として日々活動し、先日6月3日に行われた加茂郡体育大会では優勝することができました。ここ10年ほどは加茂郡では負けなしで、優勝を続けることができています。目標は、次の地区大会を勝ち上がり、県大会で優勝することですが、2009年を最後に優勝からは遠ざかってしまっている。今年こそは優勝したいと思います。結果としての優勝はもちろん一つの目標ではありますが、やはりそれより大きな目標はサッカーができる環境を作ること、次世代の育成です。環境はグラウンドというところではなく、サッカーができる「仲間」「時間」「場所」を確保してい

くことです。もちろん人工芝や天然芝のサッカー場が坂祝町にできるのは夢ですが(笑)。

私自身も体協サッカー部の代表として

活動を続けておよそ10年とになりました。その間、スポーツや、坂祝中サッカー部の指導に関して、すでに成人と



なつた子も多くいます。今回の郡大会でもそういった子たちも活躍してくれたのはうれしい限りでした。これから自分自身、まだまだプレーも続けていきますが、どんな次世代の子たちが活躍していつてくれるように小中学生などに関わっていきたくと思います。ワールドカップを見てもそうですが、サッカーには人を動かす大きな力があると思っています。サッカーを通してこの坂祝町が発展し、活気のある街になることもできると信じています。サッカーを祝うまち『坂祝町』になることを夢見て。

「消防団活動」

第1分団第2班

団員 久保田哲也

私は、8年前に坂祝町消防団に入団しました。

「地域の住民の方の生命・財産を守る」という消防団員としての使命を胸に日々の消防団活動を行っております。

私が所属している第1分団第2班(勝山)は、現在16名で活動しておりますが、各々仕事をしながらの活動となりますので、全員で行事や訓練に参加したりすることは多くは無いですが、地域貢献が出来るよう、みんなで声を掛け合い活動しております。

年末など、火災が発生しやすい時期には、夜間警備も行っており、少しでも地域の住民の方が安全に暮らせるようにという想いを持って取り組んでおります。

仕事をしながらの消防団活動は正直大変ですが、家族は勿論、活動の中心で動いてくださる坂祝町職員の方々等、色々な方に支えられご協力を頂きながら私達の活動が成り立っておりますので、感謝の気持ちを忘れてはいけないう日々感じております。

近年では、大規模な地震・異常気象によるゲリラ豪雨等での自然災害が全国的に増加してきており

ます。よく耳にする南海トラフ地震に関しても、いつ起きてもおかしくはありません。起こってしまった時に冷静に動けるように、日々の訓練に励んでおります。

訓練といえば、5月27日に開催されました第58回坂祝町操法大会において、我が勝山班Aチームが優勝、6月24日に坂祝町で開催された第62回加茂郡消防操法大会に坂祝町代表として出場することができました。

県大会出場を目指し、町大会が終了した5月末から郡大会当日まで、ほぼ毎日20時から22時まで訓練を行った結果、見事大会で優勝することができました。



8月5日に郡上市で開催される第67回岐阜県消防操法大会に加茂郡7町村の代表として出場することとなりましたので、県大会で最高の操法が披露できるよう、精一杯頑張ります。

これからも坂祝町がより良い町・暮らしやすい町になるように消防団活動に励んで参りますので、今後とも、坂祝町消防団へのご理解・ご協力の程、よろしくお願ひ致します。